

ABSTRACT ATTACHED

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2001-245816

(P2001-245816A)

(43)公開日 平成13年9月11日(2001.9.11)

(51)Int.Cl.⁷

識別記号

F I

テ-マ-ト*(参考)

A 4 7 K 7/00

A 4 7 K 7/00

C 3 E 0 1 4

10/20

10/20

A

B 6 5 D 83/08

B 6 5 D 83/08

B

審査請求 未請求 請求項の数4 O L (全 5 頁)

(21)出願番号

特願2000-59803(P2000-59803)

(22)出願日

平成12年3月6日(2000.3.6)

(71)出願人 591254958

株式会社タイキ

大阪府大阪市都島区都島北通1丁目2番16号

(71)出願人 000156341

釜屋化学工業株式会社

東京都台東区浅草橋5丁目23番6号

(72)発明者 中村 憲司

大阪府大阪市東淀川区西淡路6丁目3番41号 株式会社タイキ淡路工場内

(74)代理人 100098154

弁理士 橋本 克彦 (外1名)

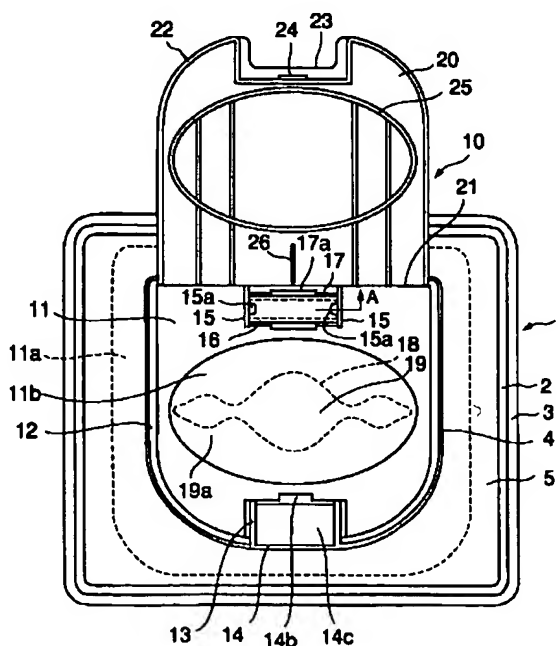
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 ウエットティッシュ容器

(57)【要約】

【課題】 安価にして開閉操作性に優れたウエットティッシュ容器を提供する。

【解決手段】 合成樹脂製の容器本体1の上端に開閉蓋装置10が設けられたウエットティッシュ容器において、前記開閉蓋装置10は、その基板11の上面に外枠12が立設され、前記外枠12の側には蝶番21を介して蓋片20が回動自在に設けられていると共に前記蓋片20の先端部が対応する前記基板11の上面に解錠機構14が一体に設けられ、且つ前記蓋片20の下面基端部には突起26が突設されていると共に前記突起26に対応する前記基板11の上面に弾性管16が配設されている構成とした。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 合成樹脂製の容器本体の上端に開閉蓋装置が設けられたウェットティッシュ容器において、前記開閉蓋装置は、その基板の上面に外枠が立設され、前記外枠の一側には蝶番を介して蓋片が回動自在に設けられていると共に前記蓋片の先端部が対応する前記基板の上面に解錠機構が一体に設けられ、且つ前記蓋片の下面基端部には突起が突設されていると共に前記突起に対応する前記基板の上面に弾性管が配設されていることを特徴とするウェットティッシュ容器。

【請求項2】 前記蝶番が薄肉ヒンジであることを特徴とする請求項1記載のウェットティッシュ容器。

【請求項3】 弾性管が内向き突起を有する支持板で挟持されていることを特徴とする請求項1又は請求項2記載のウェットティッシュ容器。

【請求項4】 開閉蓋装置における基板の上面に凹没部が形成されていると共に蓋片の下面に前記凹没部と嵌合する環状リブが突設され、且つ前記凹没部には取り出し口を開く薄肉破断線により囲われた切り取り面が形設されていることを特徴とする請求項1、2又は3記載のウェットティッシュ容器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、化粧水や消毒液等の液体を含浸させたティッシュペーパーを取り出し易く収納したウェットティッシュ容器に関するものであり、詳しくは、ウェットティッシュ容器の開閉蓋装置の改良に関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来、ウェットティッシュを収納する容器には、美観性と防水性に優れた合成樹脂製容器が使用されている。また、容器の取り出し口の開閉手段は気密性を要求されると共に、一般にウェットティッシュ容器は使い捨て容器であるので、安価であることが要求されている。

【0003】安価にして気密性に優れたウェットティッシュ容器の開閉手段としては、周知のスクリュウキャップによるものや、実公平4-33268号公報に図示されているような蓋部材に紐状のヒンジで一体に連結された外栓によるものや、実公昭57-57024号公報に図示されているような容器本体に薄肉ヒンジを介して一体形成された蓋板によるものが知られている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】上記従来のウェットティッシュ容器の開閉手段は、部品数が少なく安価ではあるものの、スクリュウキャップによるものは、使用時にキャップの螺子回転による開閉操作に時間がかかり、キャップを迅速に開閉することができない欠点を有している。また、紐状のヒンジで連結された外栓や、薄肉ヒンジを介して一体形成された蓋板による開閉手段は、外栓

や蓋板を指先でこじ開けて、且つウェットティッシュを取り出し易くする為にヒンジを90度以上開き方向に折り曲げて開口しなければならなかった。従って、外栓や蓋板の開放操作に強い指力を必要とするうえに、片手による開放操作ができず、使い勝手が良い容器とは言えなかった。

【0005】また、容器本体と蓋板を別体に設け、蓋板をコイルスプリングによる開きバネで自動的に開蓋させる開閉手段も周知であるが、蓋板の取り付けや開きバネの組み込み工程に手間や時間がかかり、高価になって経済的に不利である。

【0006】本発明は、上記の問題に鑑みてなされたもので、安価にして且つ開閉操作性に優れたウェットティッシュ容器を提供することにある。

【0007】

【課題を解決するための手段】本発明は、合成樹脂製の容器本体の上端に開閉蓋装置が設けられたウェットティッシュ容器において、前記開閉蓋装置は、その基板の上面に外枠が立設され、前記外枠の一側には蝶番を介して蓋片が回動自在に設けられていると共に前記蓋片の先端部が対応する前記基板の上面に解錠機構が一体に設けられ、且つ前記蓋片の下面基端部には突起が突設されていると共に前記突起に対応する前記基板の上面に弾性管が配設されている構成とした。

【0008】これにより、開閉蓋装置の解錠機構を上面から押圧すると、蓋片は解錠されると共に弾性管の弾性反発力により跳ね上がってワンタッチで開蓋し、弾性管によって所定の角度の開蓋状態に支持される。

【0009】また、蝶番を薄肉ヒンジで形成し、蓋片と一体に設けることが経済的に好ましい。

【0010】また、弾性管を内向き突起を有する支持板で挟持する構成としたので、弾性管の組み付け工程では、弾性管を僅かに挟ませることにより簡単に取り付けることができる。

【0011】また、開閉蓋装置における基板の上面に凹没部を形成すると共に蓋片の下面に前記凹没部と嵌合する環状リブを突設し、且つ前記凹没部に取り出し口を開く薄肉破断線により囲われた切り取り面を形設した構成としたことにより、取り出し口開封前の容器の気密状態を確実に保持することができると共に、開封後も蓋片の環状リブと凹没部との嵌合により容器内の気密状態を維持することができる。

【0012】

【発明の実施の形態】以下、本発明のウェットティッシュ容器の好適な実施の形態を添付図面を参照しながら詳細に説明する。

【0013】図1乃至図5は、本発明のウェットティッシュ容器の実施の形態を示しており、合成樹脂製の容器本体1の上端に合成樹脂製の開閉蓋装置10を熱溶着し、ウェットティッシュ（図示省略）を収納後、底部8

を形成する合成樹脂製シートを熱溶着して密閉することにより略構成されている。

【0014】容器本体1は、PP、PE等の汎用合成樹脂材料を用いて射出成形方法や中空成形方法で下方が開放された方形の箱形に成形されており、胴部2下端の開口端にフランジ3を有する共に、開閉蓋装置10を取り付けるための取付孔4が穿設された頂壁5を有している。

【0015】容器本体1のフランジ3に熱溶着されて底部8を形成する合成樹脂製シートは、基本的に容器本体1と熱溶着可能な合成樹脂シートが使用されるが、合成樹脂をコートしたアルミシートなども使用される。更に、下端開口に射出成形による底部材(図示省略)を圧入して密封してもよい。

【0016】開閉蓋装置10は、容器本体1と熱溶着可能な合成樹脂材料を用いて容器本体1とは別部材に形成されている。開閉蓋装置10における方形に形成された基板11の上面には、容器本体1の取付孔4と平面形状が相似形の外枠12が立設されている。開閉蓋装置10は、容器本体1の内側から外枠12を取付孔4に貫通させて頂壁5から上方へ突出させると共に基板11のフランジ部11a上面と容器本体1の頂壁5の下面を熱溶着して容器本体1に取り付けてある。

【0017】容器本体1の後側辺に平行する外枠12の上端には、薄肉ヒンジからなる蝶番21を介して舌片状の蓋片20が一体形成されており、この蓋片20は外枠12の内側に嵌合して閉蓋するものであり、外枠12と相似形とされている。

【0018】蓋片20には側縁に沿ってリブ22が設けられていると共に、蓋片20の先端部には凹所23が設けられており、この凹所23の奥に位置するリブ22の外側にはフック24が突設されている。

【0019】蓋片20先端部の凹所23に対応する基板11の上面には、外枠12が内側に屈曲して外枠12による凹所13が形成されており、この凹所13内には解錠機構14が一体に設けられている。

【0020】解錠機構14は、基板11上面から起立した支持脚14aと、支持脚14aよりも内側に突出して蓋片20のフック24と係合する係合片14bと、支持脚14よりも外側に突出する操作板14cとから構成され、操作板14cを下方に押圧することにより支持脚14aを支点に回転してフック24の係合を解除するようになっている。

【0021】また、蓋片20の下面中央部には、側縁のリブ22よりも高く突出する楕円形の環状リブ25が突設されている。そして、蓋片20の基端部下面には突起26が突設されていると共に、この突起26に対応する基板11の上面には蓋片20の開きバネとなる弾性管16が蝶番21に平行して配設されている。

【0022】弾性管16は、基板11の収納穴17にはめ込まれ、内向き突起15a、15aを有する支持板1

5、15で、突起15a、15aが弾性管16の両端部に挿入されて挟持されている。収納穴17の中央部は弾性管16が十分に屈曲変形が可能なように深穴17aとなっている。

【0023】弾性管16は、その弾性力で蓋片20を跳ね上げる開きバネの作用をするものであり、ゴム管を使用することが望ましい。弾性管16は、従来のコイルスプリングによる開きバネに比較して、支持板15、15に簡単に繞めて取り付けことができ、取付け作業の効率が極めてよい。

【0024】この弾性管16を使用した開閉蓋装置10は、図4に示すように、蓋片20の閉蓋時には突起26が弾性管16の中央を押し潰し屈曲させた状態で施錠される。閉蓋の際、弾性管16は、その断面方向のみならず軸方向にも変形するので、細い管径の物でも大きな開閉ストロークが得られると共に永久変形の度合いも小さく、従って、外観も維持され、長期間の使用に耐えることができる。

【0025】そして、図5に示すように、解錠と共に弾性管16は自己復元し、その弾性復元力で蓋片16を跳ね上げて所定の角度に開蓋し、弾性管16が突起21の部分を支えることにより開蓋状態を維持する。

【0026】また、蓋片20の環状リブ25に対応する基板11の中央部には、環状リブ25が嵌合する凹没部11bが形成されている。凹没部11bには、ウェットティッシュの取り出し口を開くための薄肉破断線18により囲われた切取り面19が一体に形設されており、切取り面19の上面には指掛リング19aが一体に突設されている。

【0027】以上のように構成された本実施の形態のウェットティッシュ容器に収納されたウェットティッシュは、基板11と一体形成された切取り面19により取り出し口が完全に封止されており、取り出し口開封前の容器の気密状態を確実に保持することができる。

【0028】使用するとき、解錠機構14の操作板14の上面を押圧するだけで、蓋片20はワンタッチで解錠されてウェットティッシュを引き出しやすい角度に自動的に開蓋する。そして、指掛リング19aを引き上げて薄肉破断線18から切取り面19を切り取ることにより、薄肉破断線18に沿った形状のウェットティッシュの取り出し口が開く。

【0029】使用後は、蓋片20を閉めることにより蓋片20のフック24と解錠機構14の係合片14bが係合して施錠されると共に、蓋片20の環状リブ25が基板11の凹没部11bにぴったり嵌合して容器内の気密を保持する。

【0030】尚、本実施の形態では、蝶番を薄肉ヒンジとしたが、例えば、蓋片20を別部材に形成して、周知の凹凸嵌合で収着したり、ピン打ち蝶番としてもよいことは言うまでもない。

【0031】

【発明の効果】本発明は、以上説明したような形態で実施され、以下に記載されるような効果を奏する。

【0032】請求項1に記載のウェットティッシュ容器によれば、開閉蓋装置における蓋片を蝶番を介して回動自在に設けると共に蓋片の解錠機構も一体に設け、且つ、蓋片を弾性管の弾性復元力で自動的に開蓋するように構成したので、ワンタッチで開閉する使い易いウェットティッシュ容器を安価に提供することができる。

【0033】請求項2に記載のウェットティッシュ容器では、上記の効果に加えて、蝶番を薄肉ヒンジにすることにより、組立工程と部品数を少なくして安価することができる。

【0034】請求項3に記載のウェットティッシュ容器では、上記の効果に加えて、内向き突起を有する支持板の間に弾性管を挟持させるようにしたので、開きバネとなる弾性管を簡単に取り付けることが可能となり、バネ部材の組み付け作業の負担を軽減することができる。

【0035】請求項4に記載のウェットティッシュ容器

では、更に上記の効果に加えて、薄肉破断線で切取り面を切り取って開口するようにしたので、開封前の容器の気密を確実に保持できると共に、開封後は、蓋片の環状リブと凹没部との嵌合により容器内の気密状態を維持することができ、気密性の高いウェットティッシュ容器を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のウェットティッシュ容器の実施の形態を、蓋片を180度開いた状態にして示す平面図。

【図2】図1の容器のA矢視方向を示す要部の断面図。

【図3】図1の容器の開蓋状態を示す正面図。

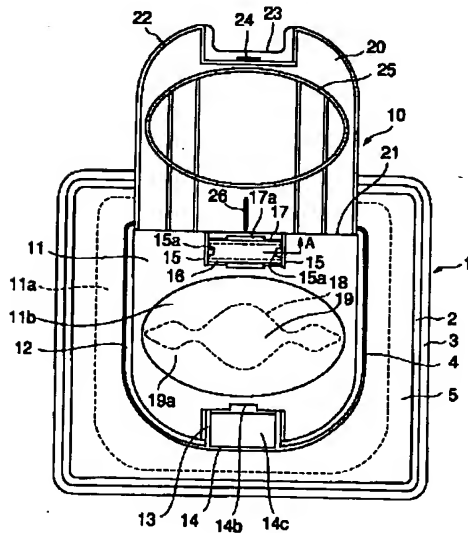
【図4】図3の容器のB-B矢視方向を示す断面図。

【図5】図4の容器の開蓋状態を示す断面図。

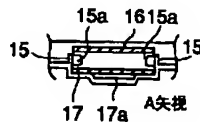
【符号の説明】

1 容器本体、10 開閉蓋装置、11 基板、11b 凹没部、12 外枠、14 解錠機構、15、15 支持板、15a、15a 内向き突起、16 弾性管、18 薄肉破断線、19 切取り面、20 蓋片、21 蝶番、25 環状リブ、26 突起、

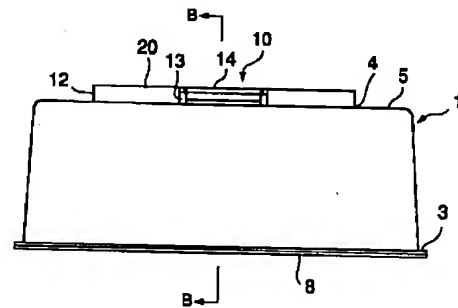
【図1】



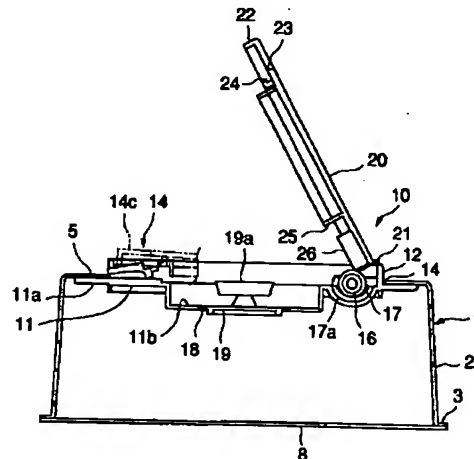
【図2】



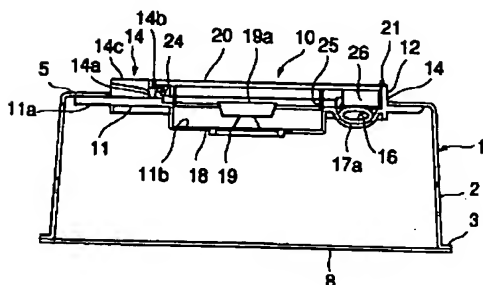
【図3】



【図5】



【図4】



フロントページの続き

(72)発明者 田原 登美雄
東京都台東区浅草橋5丁目23番6号 釜屋
化学工業株式会社内

(72)発明者 浅河 哲也
茨城県猿島郡総和町丘里2丁目1番 釜屋
化学工業株式会社茨城事業所内
Fターム(参考) 3E014 LB04

WET TISSUE CONTAINER

Patent Number: JP2001245816
Publication date: 2001-09-11
Inventor(s): NAKAMURA KENJI; TAWARA TOMIO; ASAKAWA TETSUYA
Applicant(s): TAIKI:KK;; KAMAYA KAGAKU KOGYO CO LTD
Requested Patent: ☐ JP2001245816
Application Number: JP20000059803 20000306
Priority Number(s):
IPC Classification: A47K7/00; A47K10/20; B65D83/08
EC Classification:
Equivalents:

Abstract

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a wet tissue container which is inexpensive and opens and closes smoothly.
SOLUTION: The wet tissue container is provided with a closing lid device 10 on the top of a container body 1 made of a synthetic resin. An outer frame 12 is provided standing on the top of a base plate 11 of the closing lid device 10 and a lid piece 20 is rotatably installed on one side of the outer frame 12 by means of a hinge 21, while a release device 14 is provided as one piece with the top of the base plate 11 to which the leading end of the lid piece 20 corresponds. Further, a projection 26 is provided on the base end of the back of the lid piece 20, while an elastic tube 16 is disposed on the top of the base plate 11 to which the projection 26 corresponds.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

